

夢都里路くらはぶは農業を応援しています



夢都里路くらはぶの援農が生活クラブの国産はちみつのはちみつ生産継続には欠かせません



少しでも助かったといわれ、やりがいがあり、また行こうと思いました。



ジャム用いちごは加工用とはいえ、手作業が多いのに驚きました



援農に来てもらえることが加工用トマトを栽培する大きな励みになり、作り続ける意欲につながっています



夢都里路くらはぶの研修に参加し、就農を決めました！



収穫してから出荷までに、こんなにも多くの作業が行われているのかわかり、大切に食べようと思いました。



普段は会えない人と畑と一緒に作業することが、大変刺激になって面白いです



お手伝いに行き、産地が好きになり、移住しました！



イラスト:とうかい めぐみ



もしも農家がいなくなったら・・・
もし100人の人がいたとしたら、農家はそのうちのたった2人
もし日本の農家が100人だったら、65才以上は66人！
(参考;JAあぐりタウン <https://life.ja-group.jp/aguritown/nou/>)



イラスト:とうかい めぐみ

農業をやりたい人と農家をつなげます

生活クラブ連合会
ゆとりろ

夢都里路くらはぶ

東京都新宿区新宿6-24-20

TEL;03-5291-6700

FAX;03-5285-1839

E-mail; yutoliro@s-club.coop

ゆとりろ
夢都里路くらはぶ

夢都里路くらはぶ

検索

Click!

<http://yutoliro.jp/>



めるまが会員募集中



ゆとりろ
●生活クラブの共同購入運動～夢都里路くらぶの発足～生産を持続するしくみへ#



きばる甘夏みかん

●生活クラブは50年にわたる共同購入運動を通して、生産者と一体になって食の確保をすすめてきており、他の組織にはない、強固な消費者と生産者の強い結びつきがあります。

●2008年に夢都里路くらぶを発足した当時は、切迫した生産崩壊の危機を訴える声はありませんでしたが、十年後を見通したときには、このまま継続できるかという不安感は、けっして他人事ではありません。また、組合員および家族の側にも、一般的に言われている、「田舎くらし志向」に加えて、提携生産者のところで作業に参加したい、というニーズは潜在しています。

●現在では各地の生活クラブの提携先でも、高齢化が進み、また農政の大転換などにより、今後の生産活動の持続への不安感は、増えています。特に生活クラブの加工品(トマトケチャップ、みかんジュース、ジャム)等の原料となる作物の確保が緊急の課題となっています。

●「夢都里路くらぶ」は、今後の持続可能な食料生産と消費を保障するため、消費者である組合員とその家族が、生産活動に参加することを支援します。



ケチャップ用トマト(北海道)

●これまでの活動#

2008年7月 「夢都里路くらぶ」発足。年2回(春秋)説明会(夢都里路くらぶフェア)を開催、企画への参加募集

2010年 WEB開設

2010年 就農相談開始

2014年 説明会で移住定住相談コーナー設置

◇11年間で延べ1800人が労働参画

◇将来就農を希望する12人が中・長期の研修に参加

●「夢都里路くらぶ」おもな企画

<農業体験>

～農作業を体験、現場を知る

<援農で農業を応援>

～第1次産業の持続に貢献



酪農体験(北海道)



さくらんぼ収穫(山形県)



あいがもネットはり(宮城県)



ブロッコリーの収穫(北海道)



ケチャップ用トマト(宮城県)



柿の収穫(奈良県)



採蜜援農(長野県)



みかんの収穫(和歌山県)



田の草取り(山形県)

<援農で自給力アップ>

加工品の原料確保に貢献

<産地まるごと応援>
地域や文化を知る



かぼちゃの収穫(北海道)



沃土会夢都里路農業塾(埼玉県)



「たのめの里」森づくり(長野県)

<週末農業塾>

将来に向けて農業を学ぶ講座

<中長期研修>

本気で農業をやりたい人向けの研修